



シンボルロード開通式、くまモンもテープカット 8月12日

[あなたと議会の情報ネットワーク](#)

# あおぞら21

来年は泳げるよ!! 御船中プール .....	2
計画停電 対応に108万円補正 .....	4
早期に上野保育園の改築を (一般質問) .....	6
伝わる広報誌を目指す .....	11

1月定例会

24年8月31日

No. 67

熊本・みふね町議会

# 来年は泳げるよ!!

7月定例会議を12日開きました。議長の諸般の報告や町長の行政報告のあと、108万4,000円を追加する専決処分の報告を承認しました。御船中学校プール改築（本体）工事請負契約の締

結についてと、御船町介護保険事業特別会計補正予算についてを全会一致で可決しました。

町政に対する一般質問に4人が登壇しました。



御船中プール完成予想図

御船中学校のプール改築事業は7月5日に入札が行われました。本議会で本体工事の契約の承認後、夏休み中に解体工事を行い、速やかに工事を着手し、年末完成をめどに進めていきます。

## ◆入札業者の選定は

**清水議員** この開札調書の中にN建設が入っている。N建設は、竹バイオマスの事業に多少なりとも加担した会社だと思う。この前も、入札の中に入れておったと思うが、こういう会社を入札の中に加えるということに、町民に対しても申し訳ないような気がする。どう思うか。

**野口総務課長** 竹バイオマス関係の事業の中に関係している建設会社と

いうことだが、竹会社が工場の建設の発注をされた会社ということ、町に直接迷惑をかけたとか、何かがあったとかということではない。この会社も建設に関係するような加工品をかなり作られておられ、結局まだ支払いも受けておられない状況だと聞いている。入札指名に入ることにはできないという要件にはならないと思う。

**沖議員** このような入札の中で、最低何社以上の会社が参加しないと入札は成立しないのか。

**野口課長** 最低何社という数値的なことは決めていない。できるだけ10社前後ぐらいとしている。ただ、特殊な工事や発注が特殊性があるものといった場合、極端に3社とか4社とか減る場合もある。大体10社ぐら

いをめどに一応、説明はしている。

**沖議員** 今度の場合には7社入っている。日頃町長が言われる地元の業者にとっていただきたいということであれば、入札関係上、会社の審査を経て7社が上がられたと思うが、7社もあれば御船町の業者だけで良かったのではないかと。天草や市内の業者を指名した指名選定委員会の考え方を聞きたい。

**野口課長** 約7,000万円近くの設定価格になる。もう少し業者数を増やして公正な競争入札をしたいということで、今回は13社に増やした。

**永山議員** これは本体工事となっている。設備・電気関係は含まれていないのか。屋内プールになっているが、仮にこれは電気設備が入っていない場合、その電気設備の大まかな予

# 御船中プール

算はつかまれているか。

**米満学校教育課長** 御船中学校のプール建設は、2つの事業で入札を分けた。1つがこの本体工事。もう1つは、機械設備とそれに付随する電気工事ということで、機械設備という形で入札を行った。一応4,000万円以下ということで議会に上程していない。

**永山議員** 御船町に機械設置業、管工事業とあるが、御船の業者が何社ぐらい入っていたか。

**野口課長** 中学校プールの機械設備、電気も含めたところという価格は約2,500万円。9社の指名で入札を行っている。

**永山議員** その中に御船の業者が何社入っているか。

**野口課長** 御船の業者は入っていない。非常に特殊な電気工事、設備機械だということで御船の業者は入っていない形での入札となっている。

## ◆プールへの飛び込みは

**田中議員** プールは25mか。

**米満課長** そのとおりだ。

**田中議員** 競技的な形で子どもたちが体力増強に利用するのか、どのように生かしていこうという考えなのか。

**増永教育長** 基本的にはクロールとか平泳ぎを中心に水泳の指導をする。併せて、命を守るという部分も非常に大切なので、命を守る上での水泳指導というのも行っていきたい。

**佐藤議員** このプールの一番浅いところの水深は何メートルか。

**増永教育長** 1メートル10センチ。

**佐藤議員** このプールは水泳の授業に使うということであるが、1メートル10センチであれば、飛び込みができないと思う。飛び込みスタートができるプールは1メートル35センチ以上の水深がスタート台から6メー

トルのことを考慮されているか。

**増永教育長** 考慮している。現在の小学校、中学校の学習指導要領では飛び込みを授業で指導することはない。中学3年生まで、水中からのスタートになっている。今回のプールも、公認のプールを考えたが、中学生でも背の低い子がおり危険性があると判断し、県内のプールの水深等も調べて1メートル10センチから1メートル35センチのプール、一般的な中学校のプールの深さにした。ただし、1メートル10センチの深さでも部活動や水泳大会などに参加する場合に限り、飛び込みの指導を指導者がついて行うことができるとなっている。

そこで、ガイドラインの基準に合ったスタート台を部活動や大会の時などに設置できるように目的に応じて、取りはずしができるスタート台を設計し、飛び込みの指導もできるようにしている。



御船中校舎3階から見た、プール建設予定地 8月21日

# 計画停電 対応に108万円補正

## 発電機を準備

24年度一般会計補正予算に歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ108万4,000円を追加します。これは、下水道特別会計の繰出金となっております。これは浄水センターの管理費で、計画停電に伴う補正で停電時に発電機を使うためのリース代となっております。

## 公共施設の停電除外を

**福永議員** 九州電力の計画停電による支出だが、この下水道施設の場所はどこか。

**山本みず環境課長** 今度の計画停電に伴い、自家発電施設がない施設を調査した。マンホールポンプ場16カ所が自家発電がない。中辺田見の第1、第2、下辺田見の3カ所は計画停電対象外。残り13カ所でマンホー

ルポンプの運転実績をもとに検討して、対象になるのは、陣の第1、小坂の第1、第2、第3、インター団地の第1、第2、木倉の第2の7カ所。

**福永議員** 6カ所になると思う。これは公共施設だから、計画停電はこの地域はやめてほしいという交渉を九電とされたか。

**山本課長** 下水道施設については対応ができないということで、九電へは県から連絡してある。

**野口総務課長** 計画停電外は御船町役場本庁、御船警察署本庁、上益城消防署本部本庁のみの3カ所が位置付けられている。御船町には小中学校や高校、幼稚園とか公共施設がたくさんあるが、「対象外」とか質問をしたが、計画停電が実行された場合は、「そこも停電することになる」という非常に厳しい対応だった。下水道施設だけに絞って専決補正をした。



恐竜博物館のクリーニング作業

## 恐竜博物館学芸員を増員

24年度御船町一般会計補正予算は、歳入歳出予算の補正。歳入歳出予算の総額に、それぞれ469万9,000円を追加し、予算の総額を64億4,314万円とする。

補正の理由として恐竜博物館の事業に伴い、1人学芸員の採用に伴う人件費の分と、発掘広場の発掘調査に係る重機の借上料分となっている。

**清水議員** 恐竜博物館の学芸員は、これは専門でないとできないが、御船在住の方か。

**増永教育長** 選考試験を行うので、御船町在住の方かどうかはわからない。

## 海外視察研修の補助内訳は

**田端議員** 熊本県の農業青壮年協議会海外視察研修補助金10万円と出ているが、説明書を見ると、アメリカ約1週間の研修。研修費用が55万895円になっている。補助金以外は全部自己負担で参加されるのか。

**藤岡経済振興課長** 農協中央会助成が5万円、JA上益城助成が20万円、町から10万円ということで、個人負担が20万895円となっている。



計画停電に合わせていつでも出動できるよう待機中の発電機

## 議会報告

議会運営議会を6月26日と7月9日に開き、7月会議は7月12日の1日間で決定いたしました。

7月10日の郡議長定例会で、11月9日に計画している上益城郡町議会議員研修会、第38回上益城郡町村議会議員親善スポーツ大会と第56回町村議会議員全国議長大会および議長視察研修等の協議を行いました。

7月2日の九州中央自動車道建設促進沿線議会期成会熊本・宮崎県合同理事会において、7月17日に御船町カルチャーセンターで開催される九州中央自動車道沿線議会協議会並びに決起大会の進行等について協議をいたしました。



7月17日に開かれた中央道大会

## 行政報告

7月28日開催の上益城郡操法大会に伴う一斉指導が7月1日日曜日、町民グラウンドで開催され、郡内から15チームが参加しました。町代表の7分団4班、6分団2班の2チームの選手も優勝を目指し、気合の入った訓練を行っていました。



県大会でも優勝を目指せ 6分団2班（7月28日）

## ◆農地・施設豪雨被害 4,568万円

6月15日から6月26日の梅雨前線豪雨により発生した農林水産業施設災害について報告します。農地災害14件、被害額2,858万円、農業用施設災害15件、被害額1,710万円、合計29件、被害額4,568万円でありました。

町営住宅の補充入居者募集及び入居状況について報告します。今回、入居対象となる町営住宅の空き住宅は4戸で玉虫団地3戸、下高野団地1戸でありました。

6月7日に第1回の町営住宅補充入居抽選会を開き、入居予定者4世帯が決定しました。

6月29日に第1回の都市計画審議会を開催しました。シンボルロード線改築工事の進捗状況並びに24年度御船地区都市再生整備事業の事業計画について報告しました。

御船地区かわまちづくり計画概要について説明を行いました。

6月15日から26日にかけての梅雨前線豪雨により発生した公共土木災害について報告します。河川施設災害が2件の被害額約495万円、道路施設災害8件の被害額約1,260万円、合計10件、被害額約1,755万円でありました。

## ◆給食センター予定地 候補7か所

給食センター建設予定地を現在7カ所を候補地として考えています。給食センターに関する関係者、学校長、PTA代表、学識経験者等の14名からなる建設敷地選定委員会を去る7月5日に立ち上げました。第1回目の会議を開催しました。今後月に1～2回の会議を行います。安全性、運搬車両の動線、敷地の特性、敷地周辺への影響などのチェック項目を設け、候補地を絞り込みます。9月中旬をめどに答申される計画を進めます。その意見を踏まえ、位置の決定を行い、10月議会で議会に報告したいと思えます。



7月7日には、子ども会主催の七夕祭りが、7月8日には上野鼎春園において、地元住民により宮部鼎蔵顕彰供養祭が開催されました。

## 7月の議会の動き

- 2日 九州中央道沿線議会理事会
- 4日 御船地区衛生施設組合議会研修～6日
- 9日 全員協議会・広報編集常任委員会
- 10日 上益城郡議長会
- 12日 議会・議会改革推進特別委員会・広報編集常任委員会
- 13日 視察受入れ（鹿児島県長島町議会）
- 17日 九州中央自動車道沿線議会総決起大会
- 19日 視察受入れ（岩手県滝沢村議会・宮崎県都農町議会）
- 23日 常任委員長・議会運営委員長研修
- 27日 議会運営委員会・総務常任委員会
- 30日 全国広報研修会～31日  
広域農道整備協議会・中山間整備協議会



# Q 早期に上野保育園の改築を！

## A 施設検討委員会で検討

田端 幸治 議員

**田端議員** 町立上野保育園園児数の推移はどのようになっているか。

**山本町長** 13年度から20年度にかけては25名前後で推移し21年度33名、22年度38名、23年度40名、24年度46名で増加の傾向です。

**田端議員** 上野保育園園舎は建築から45年が経過し老朽化しているが耐震結果はどのようになっているか。

**山本町長** 耐震調査については23年9月から実施している。結果は震度6～7の地震が発生したときに、倒壊する可能性が高い所が5箇所、倒壊する可能性がある所が1箇所だった。

**田端議員** 改築する場合、どれ位の経費が必要か。また財源の裏付けはどのようになっているか。

**藤井福祉課長** 改築すれば約1億6千万かかる。事業に対する補助金は現在調査中ですが約700万円程度、県の補助がある。

### 七滝中央小学校敷地内に 保育園園舎を！

**田端議員** できるだけ早い改築が必要だと思うが、その時期と建築場所については七滝中央小学校敷地内に併設した園舎建築を計画してはどうか。

**山本町長** 改築時期については施設検討委員会を設置し、保護者や地域の意見を聞き、25年度までに方向性



45年を経過している、上野保育園

を出したい。また、建設予定地については七滝中学校跡地など数箇所の候補地を検討していく。

### 特定目的基金創設を

**田端議員** 御船町が将来絶対的に必要な役場庁舎や教育施設、公民館などの公共施設建設や町造りに必要と思われる特定目的基金を見直すべきだ。特定目的基金の状況を見ると御船町は8,911万6千円（22年決算）で、県下31町村の中29番目の低さである。安定した財政運営のためにも特定目的基金の増設をすべきだ。

**吉本企画財政課長** 現在の基金は下記表のようになっている。

### 中山間地の若者定住策はあるか

**田端議員** 中山間地は年々人口減少

が進み、現在では昭和の合併当時に比べ、約1/3程度になっている。特に若者の減少が著しく今後地域存続が危ぶまれる状況である。一日も早く何らかの政策を打つべきと思うが、町長の考えは。

**山本町長** 中山間地における空家調査を実施した結果、63戸の空家を確認した。これらの有効活用を行うためにも今後検討する予定である。また、益城町や甲佐町においては定住促進として住宅新築や宅地購入に対する補助金制度が設けられている。御船町においても今後検討の余地があると感じる。

**田端議員** 役場内に中山間地対策室（仮称）等を設け、持続可能な地域づくりを目指し、具体的行政支援や政策を打つべきだ。

町名	財政調整基金	減債基金	特定目的基金
御船町	1,068,179	153,480	89,116
嘉島町	1,358,759	51,313	546,849
益城町	1,109,117	507,475	2,417,419
甲佐町	1,370,206	60,063	192,003
山都町	1,278,129	143,626	1,753,095

【上益城郡内基金の状況（平成22年決算）単位：千円】



田上 忍 議員

# Q 受動喫煙をどう考えるか

## A ガイドラインを作る

**田上議員** 受動喫煙が問題視されるなかスポーツセンターの喫煙所は玄関前、役場は自動販売機のある場所に設置してある。今後御船町では恐竜博物館、観光交流センターなど新しい建物が建設されるが喫煙所はどう考えているか。

**山本町長** 法律的には健康増進法第25条で、「学校、体育館、集会場、官公庁施設等、その他多数の者が利用する施設を管理する者は、これらを利用する者について、受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と規定されている。具体的には22年2月25日付け、厚生労働省健康局長通達で、今後の受動喫煙防止対策の基本的な方法として、多数の者が利用する公共的な空間については、原則として全面禁煙すべきである。一方で、全面禁煙が極めて困難な場合等においては、当面施設の対応や事業者のニーズに応じた適切な受動喫煙防止対策を進めることとする。御船町では、22年度にたばこの価格が上がったにもかかわらず、たばこ税も年々増加しており、22年度決算では8,000万円を超えた。愛煙家やたばこ農家の思いも考慮し、現在庁舎に喫煙室を

設けて運営を行っている。今後については、「健康いきいき御船町」を実現するために、健康づくりについてもっと真剣に論議し、実践に移し、成果を上げる必要がある。24年度、25年度で健康増進計画の策定を予定

しているので、その中でもたばこの喫煙に対する影響や受動喫煙防止等について議論していきたい。併せて受動喫煙防止対策のガイドラインを作成したい。新施設については敷地内禁煙の方向で検討していきたい。

**田上議員** 喫煙が妊婦に与える影響だが、たばこの煙が胎盤を通じて胎児に悪影響を与え、子宮内での発育が遅れる。先天異常や早産、死産、分娩児の異常といった危険も高まる。成長期の子どもがたばこの煙を吸うと、風邪をひきやすくなったり気管支炎、喘息発作、中耳炎などいろんな病気にかかりやすくなる。また、赤ちゃんの突然死（SIDS）の原因の一つにも関連している。

現状のスポーツセンター、役場の自販機前の喫煙所はこのままで良いのか。

**増永教育長** 公共施設においては受動喫煙の防止は責務であり子どもたちの健康を守るのは私の務めなので玄関前にある喫煙



スポーツセンター玄関前の喫煙所

所の移動は今、検討している。

**田上議員** 「町内の小中学校の全面禁煙、敷地内禁煙は検討する」と2月議会で聞いているがどういう方向で進んでいるのか。

**増永教育長** 各学校でPTAと相談しながら検討をしてもらっている。8月の校長会議で各学校の検討結果を説明してもらい、町としてどういう方向性をもって取り組むかを検討していく。

**田上議員** 小中学校は、地域の方や保護者も入ってくる。一気に進めるのは難しいので周りの理解を得ながら徐々にできないのか。まずは、教職員から実行することはできないのか。少なくとも子どもたちの見えない場所に学校内の喫煙所を設ける工夫はできないのか。

**増永教育長** 一つ一つの学校がどこに喫煙所を設けてあるかというところはわからないが、基本的に子どもの前で吸うとか、子どもに影響がある場所で吸うということはない。

**田上議員** 他町村の状況は調べているのか。

**増永教育長** 正確には調べていない。

**田上議員** 先進地を参考にして、良い方向へ持って行って欲しい。



役場玄関の自販機横の喫煙所



# Q 防災計画が不十分、法令違反状態では A 計画を変更させ、確認したい

福永 啓 議員

**福永議員** 御船町で災害が発生した場合、どのような状況が想定されるか。

**野口総務課長** 想定される災害に対する対応などは、地域防災計画の中に書いてある。町の事情を考慮すれば、特に中山間部の集落孤立が懸念される。孤立危険地域は3箇所程度だと思っている。

**福永議員** 私の認識と大きく違う。国の基準では20箇所以上孤立の危険性がある。集落が孤立すれば被害状況の確認もできない。孤立危険地域の現状を把握し、早急な対応が必要。町には防災行政無線も無いので早急に導入しなければならない。導入する時は業者任せにせず、研究機関や専門家と協議しながら導入すべき。

**野口課長** 孤立危険地域の実態、対策等については地域防災計画の中に盛り込んでいきたい。防災行政無線についてもいろんな方式があるので、検討している。

**福永議員** 今年度の地域防災計画には、集落の孤立化対策には全く触れ

ていないどころか、他市町村や県に比べ中身が薄い防災計画となっている。しかも、地域防災計画は議会の議決が必要であるにもかかわらず、議会に対する提案も、議決されないまま策定されている。これは法令違反である。

**野口課長** 策定した地域防災計画に議会の議決が必要であるという認識がなかった。早急に対応したい。福永議員にも防災計画の中身について提言したい。

**福永議員** 地域防災計画は、町民の生命財産を守る上で大変重要な計画であるので議決事項になっている。私個人としても提言していくが、本来議会に対して提言を求めるべき。地震災害について、他市町村が作っている「揺れやすさマップ」のようなものを作成する計画はないか。

**野口課長** 他市町村が作っているような「揺れやすさマップ」を作成し



がけ崩れ等により、集落の孤立が懸念される。

町民に配布するのが本当にいいのかどうかを含めて検討する。

**福永議員** 既にネット上では、全国の地域が、どれほどの地震に、どれほどの確率で襲われる可能性があるのかなどを国の機関が発表し、誰でも見ることが出来る。町においても積極的に情報を発信すべき。水害については、ハザードマップが作成されているが、局地豪雨による内水水害については盛り込まれていないのではないか。

**野口課長** 御船町中心部の再開発に伴い、内水水害が懸念されていたが、現状、各大型店舗が個別に設置した遊水地などが機能して、それほど大きな被害は出ていない。今後内水水害についても検討し、ハザードマップ等改める所があれば改めたい。

**福永議員** 町中心部は未だ九州北部豪雨のような局地的豪雨に襲われていない。仮に1時間100mmの豪雨の場合、町中心部1平方kmあたり、御船川約10本分の水が流れこむ計算になる。事前の備えが不十分であれば、大きな被害を生むことにつながるの、町民に対して十分な情報提供と、有効な被害防止対策を進めなければならない。



中山間地区では、がけ崩れの危険性がある急傾斜地に面した生活道路が多数ある。  
横野水越線 8月26日



## Q 資産の減少額は A 建物は譲渡、土地は2筆売却

藤川 博和 議員

**藤川議員** 町は行財政改革の一環として、老人ホームを民間へ移譲するが、移譲に伴い、町の土地・建物等の資産が減少し、同時に起債残額が負債として発生した。資産の減少額はいくらになり、また負債額はどのような処理をしたか。

**吉本企画財政課長** 老人ホームは、当時総事業費8億5千万円程度で建設された。建物は減価償却により現在、評価額2億8千5百万円。建物は無償で民間へ移譲された。土地は3筆を3億円で購入、1筆（グラウンド）は無償で貸付け、残り2筆を売却した。1筆（グラウンド）は町の資産として残した。結果、建物、土地（2筆）の起債残金1億百万円が残金として残り、資産として残った1筆（グラウンド）分の起債残金支払いは定額償還とし、売買した土地2筆と建物の起債残金は、土地の売買金と基金で一括返還を考えている。

**藤川議員** 老人ホームの廃止後、24年度予算額1億3千7百万円の内、職員の配置転換により、人件費など経費は、どれくらい削減になるか。

**藤井福祉課長** 町が民間移譲をしない場合、今の老人ホームの現状では、



売却される老人ホーム（オアシス）

入所者の高齢化により、介護が必要となる。今後要介護者が増加することで、専門的知識を持った職員が必要となり、人件費が増加することになる。

今回移譲することで、将来的には、人件費の削減に繋がっていくことになる。また人件費以外にも、施設設備等の老朽化により施設の修繕などに毎年、多額の設備投資が大きくなることも考えられ、現状を検討し、民間移譲になった。

老人ホームに勤務する職員は、本庁の職員として残ることになり、人件費は、そのまま必要である。ただ

老人ホームの技術職員および老人ホームの支援員が学校給食員として配置転換することで、学校で現在働いている非常勤職員、守衛等の雇用が無くなり、その分の人件費は削減になります。

**藤川議員** 技術職員8名が給食係として、配置される事で、給食係の人件費は増額しないか。

**米満教育課長** 町全体からすると正職員の人件費はかわらない。

**山本町長** 老人ホームの現業職がそのまま学校給食に入ることで、老人ホーム非常勤職員8名、学校給食非常勤職員8名、警備2名の計18名の非常勤職員が辞める事で、非常勤職員の年間所得160万円×18名で2,880万円の経費（人件費）が削減となる。

**藤川議員** 給食係技術職員は年間所得400万円（月給料にすると33.5万円）、非常勤職員の年間所得140万円（月給料にすると12万円）で給料に差があるが、同一労働で、この差は、どこが違うのか。

**米満課長** 技術職員と非常勤職員の労働内容は同じだが、出勤時間と終業時間が違う。



御船小給食室（仮設）にも人員配置される予定

## 民生文教常任委員会報告

7月19日

民生文教常任委員長 佐藤 俊明

### 放置遊具があぶない 民教委が現場視察

七滝社会教育センター（旧七滝小学校）運動場にある遊具類が腐食し

て危険である。昨年の議会報告会で地域の方からの撤去の要望があった。

撤去するための予算を計上されたものの、執行されておらず再度の要望となった。

7月19日民生文教委員会で現地を視察した。地元の森田区長と山下さんが説明員として参加され、運動場の利用状況など説明を受けた。運動

場の利用は消防団の訓練や地域のグラウンドゴルフなどに利用されているものの遊具類は利用されていない。

七滝社会教育センターは七滝公民館が管理を委託されており、川口公民館長と森田区長の連名で遊具撤去の要望書を提出することとなった。



遊具類の現地視察を行い、山下さん（左から二人目）、森田区長（右端）から状況説明を受けた

## 御船町議会

# Facebook はじめました

御船町議会では広報誌やホームページなどを使い、情報発信してきました。今回さらに、多くの方に情報を提供する手段として「Facebook（フェイスブック）」ペー

ジでも議会活動状況を発信することとしました。「必要な情報をすばやくお知らせする。」ことを目指します。



御船町議会フェイスブックのカバー写真

# 伝わる！分かりやすい 広報誌を目指す



講師の説明に耳をかたむける広報委員

東京シェンバツハ・サポー（砂防会館別館）で行われた町村議会広報研修会に広報委員6名で参加してきました。

今回のテーマは「伝わる！わかりやすい文章を書く」「広報誌におけるレイアウト表現の基本」「写真の撮り方」でした。

## 文章がわかりやすくなるちょっとした工夫とは

- ①主語を明確にする。②主語を修飾する言葉は短めにする。③述語を主語に近づける。④てにをは、を「がorは」に変えてみる。⑤読点「、」の適切使用⑥ひとつの段落は、5文（センテンス）以下にする。⑦省略された主語を、変更しない。⑧主語と述語を、かみ合わせる。⑨原因を結果をかみ合わせる。⑩他の意味にとれる言葉を使わない⑪話をできるだけ単純化する。⑫外来語の使用は最低限にする。⑬余分な言葉を削除する。

## 何を書くべきか

心をつかむ文章、目的を達成できる文章に必要な条件。①どんな結果を得たいのか②読み手の期待は何か③読み手にどのような影響を与えたいのか。

## 短文で語る技術

短文は読む気がなくても目に入る。

10文字以下なら無意識に読んでしまうし、40～50文字なら一息に読める。短文ほど不要な言葉が少ない。記憶されるのは全情報の1

%以下である。

## タイトルで心をつかむ

タイトルはリード分を読ませるためにある。リード分は本文を読ませるためにある。冒頭で読む気にさせるには結論先出で、さらに興味をひきつける。説得力があるのは「意見より事実」

## 広報誌におけるレイアウト表現の基本

広報誌の表現主体は文字組である。

- ①広報誌の表現主体となる「書体」と「文字の組み方」の工夫②同じ割付用紙でもレイアウト次第で変化する。③理解促進を図るために、文字情報の役割を活用する。

## 広報誌チェックリスト

- 情報のタイムリー性
  - ・訴求情報に鮮度はあるか
  - ・住民の関心事が広報されているか
- わかりやすい表現か
  - ・見出し、リード、小見出しなど、文字情報の役割を活用しているか
  - ・難しい語句を使っていないか
  - ・可読性のある文字組か
  - ・図版を用いて、視覚的に分かりやすく訴求しているか
- 視覚的なマンネリを防ぐ
  - ・毎号、企画内容と似ていないか
  - ・情報内容に応じて、レイアウトを変えているか
  - ・紙面に視覚的なメリハリが施されているか

## 広報クリニック

写真の使い方、レイアウト、色づかいなど、詳しくクリニックをしていただいた。次号から一気に改善できないが少しずつ今回の研修内容を取り込んでいきます。

「あおぞら21」ではこれからも議会であったことを、分かりやすく伝えていきます。



広報クリニックで赤字で添削をうけた「あおぞら21」

# 人材は人財である



木倉  
坂田鉄太郎さん

御船町に企業連絡協議会というのがあり、私はその副会長をしています。そこでは企業相互の工場視察や研修会等を行い、情報交換や異業種との交流で新しい知識や人脈を得ることが出来ます。

我が社でも新たな人との繋がりによって生まれた仕事もあり、大きな刺激にもなっています。このことは企業誘致が単に企業の数が増えるだけでなく、「人材は人財である」といわれるように、お互いに切磋琢磨することによって、御船町全体の活性化にも繋がります。それが企業誘致の大きな目的でもあります。

最近町では企業の進出が増えています。近隣の町村に比べるとまだまだ少ないように思います。

議員の皆さんは企業誘致で町長や企業誘致係りを叱咤激励するだけでなく自らも町の代表者として「16名の選ばれたセールスマン」として、御船町のPRに本腰を入れて取り組んでいただきたい。

日頃仕事に追われて議会の傍聴もままならぬ者にとつて「あおぞら21」は議員や議会の動きを知る上で、貴重な情報源です。

これが毎月発行され全戸に配布されていることで議会をより身近に感じることが出来ます。

議会広報誌は「硬い」紙面になりがちですが、イラストや写真を多用し、平易な文章で町民に親しまれる「あおぞら21」を期待しています。

## まちにまった開通式

長年待ち続けたシンボルロードが完成し、開通式が8月12日行われた。多くの来賓や参加者に混じ

り、くまモンもテープにはさみを入れた。

これまでの学園道路は狭く、通学路としても危険であったがまさしくシンボルロードとして期待される。

開通式終了後役場前からショッピングセンターマルエイまで参加者で初歩行。その後ろを「があーっば祭り」の1番山車、2番山車、ひょっこ踊り等、続いた。今までに無い盛大な開通式、祭りのパレードとなった。



### 議会の予定 9月

- 4日 御船町甲佐町衛生施設組合議会
- 10日 全員協議会
- 13日 議会～21日 (14～17日休会)
- 25日 議員研修～27日

### Facebook はじめました (フェイスブック)

議会の情報をよりはやくお知らせすることを目指します。



10頁に関連記事

### 編集後記

7月末、広報編集の勉強会が東京で開催され委員全員が参加した。広報の使命は議会議員の活動、町政を伝える事である。しかし前号の、アンケート用紙の返答は残念ながら数枚であった。それは他の広報、回覧と違って内容が硬い。

又今日明日の生活に即生かされないのもネックの要因でもあると考えられる。

それでも手に取って読んでもらえる広報誌にしないでならない。

今回の勉強会を最大限に生かし、多くの町民の方々より議会へ意見等が返ってくる広報誌にしたい。

今号より、スタッフ一同知恵を出して、リニューアルしたつもりで在るのだが、その反応はいかに。

永山和人

### 議会広報編集主任委員会

- 発行責任者 岩田 重成
- 委員長 田上 忍
- 副委員長 山田 五郎
- 委員 佐藤 俊明
- 委員 田中 隆敏
- 委員 永山 和人
- 委員 増田 安人